

麦づくり情報(No.3)



1. 麦作況情報田の生育概況(2月28日調査)

場所	品種名		播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	主稈葉数 (L)	葉色	概況
大和	シロガネコムギ 6条播き	本年値	11/22	28.5	513	8.8	42.5	草丈は平年より高い。 茎数は平年より少ない。 葉令からみた生育は平年に比べ早い。 ※麦踏みと寒当たりの影響で 分けつ抑制がみられる。
		平年値	11/27	23.9	775	7.0	43.8	
		平年比	-5日	119	66	1.8	-1.3	
牛津	サチホゴールド 4条播き	本年値	12/9	22.3	973	6.5	42.1	草丈は平年より高い。 茎数は平年よりやや少ない。 葉令からみた生育は平年に比べやや遅い。
		平年値	12/7	19.8	1017	7.0	43.1	
		平年比	+2日	113	96	-0.5	-1.0	

参考 農試作況データ(2月28日調査)

品種	播種期 (月/日)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色 (SPAD)	概況 (平年・平均と比較して)
シロガネコムギ	11/21	本年	38.5	628	7.1	48.0	[気象] 2月9日~2月27日まで ◆平均気温…平年より1.4℃高い ◆日照時間…短い(平年比84%) ◆降水量…やや少ない (平年比95%) [生育] ◆草丈 11/21播種「シロガネコムギ」、 12/1播種「サチホゴールド」で やや高い。12/1播種「はるか二条」 で平年並み。12/9播種「サチホゴ ールドン」でやや低い。12/9播種 「シロガネコムギ」、12/9播種「は るか二条」で低い。 ◆茎数 「シロガネコムギ」で少ない。 12/9播種「サチホゴールド」で やや多い。他は多い。 ◆葉齢 全品種・全作期とも遅れている。 ◆生育ステージ(次頁参照)
		平年	37.0	745	7.5	44.4	
		平年比(差)	104	84	-0.4	+3.6	
	12/9	本年	20.1	593	5.4	51.6	
		平年	23.1	714	6.2	46.3	
		平年比(差)	87	83	-0.8	+5.3	
サチホゴールド	12/1	本年	27.7	1273	6.5	47.1	
		2ヵ年平均	26.7	1173	7.0	44.2	
		前年比(差)	104	109	-0.5	+2.9	
	12/9	本年	21.5	985	6.1	48.5	
		平年	22.5	935	6.4	44.3	
		平年比(差)	96	105	-0.3	+4.2	
はるか二条	12/1	本年	25.5	1173	6.4	50.6	
		2ヵ年平均	25.3	979	6.9	48.0	
		前年比(差)	101	120	-0.5	+2.6	
	12/9	本年	19.8	1008	5.9	54.1	
		5ヵ年平均	24.0	861	6.3	47.2	
		平年比(差)	83	117	-0.4	+6.9	

気象概況

2月3半旬~2月5半旬の平均気温は平年比+2.8℃と高く推移した。降水量は定期的に降雨があり、65.5mm平年比185%と多く推移した。日照時間は平年の76%と寡照で推移した。

生育概況

- ・11月中旬に播種された小麦は、現在8～9葉期となっており、茎立ち期を迎えている。分けつが発生も旺盛で生育は良好となっている（シロガネコムギ情報田は、麦踏みと寒当たりの影響で茎数が少なくなっている）。11/22播種のシロガネコムギ情報田では現在節間長15～20mm、幼穂2～3mmとなっており茎立ち期を迎えている。
- ・12月上旬播種の大麦は現在4～5葉期となっており、幼穂形成期を迎えている。初期生育が播種後の少雨・乾燥で遅れたものの生育は回復し、現在は平年並みとなっている。

2. 今後の管理

○穂肥

◎近年、大麦・小麦ともに、タンパク質含有率が低い傾向にある。品質確保のため、必ず穂肥を施用する。

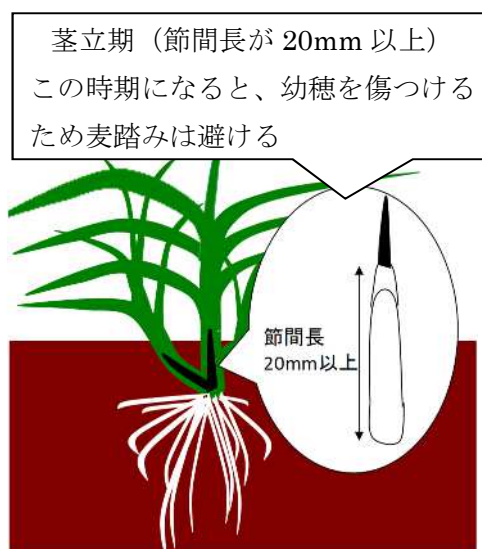
穂肥は茎立期（草丈20～25cm程度）前に施用する。茎立期を迎えている圃場では、麦踏みを行いながらの施肥は避け、動力散粒機やブロードキャスター等で散布する。

◎肥効を高めるため、穂肥後に土入れを行うとより効果的である。

ビール大麦 【タンパク質含有率値の目標：10～11%】

2月の降水量と葉色により、穂肥量を決定する。

降水量が多い場合は、肥料の流亡が多くなるため、施肥量を多くする。ただし、倒伏を招く可能性があるため、過剰な施肥は行わない。時期は、3月10日頃までに実施する。



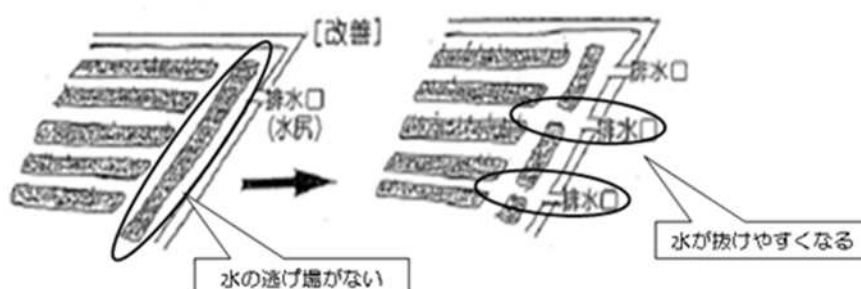
今年の2月降水量は
65.5mmである。

2月の月間降水量 平年値：74.5mm	3月上旬の葉色 (SPAD値)	穂肥施用量 BB602(N成分)/10a
50～100mm	42以下	20(3)kg
	43～45	
	46以上	15(2)kg

小麦 特にパン用小麦・チクゴイズミは、タンパク質含有率確保のため、必ず穂肥を実施する。

○排水対策

- ・生育期間中の湿害が根の張りに大きく影響する。また、今後は降雨量が増えることが予測されるため、速やかに排水できるよう、降雨が多くなる前に、土入れ後は、溝を排水口まで通すなど整備し、圃場内に滞水しないよう管理する。



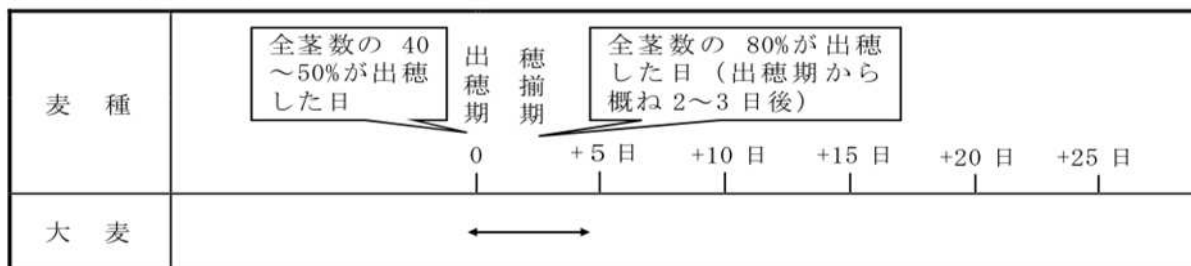
○病害虫防除

◆オオムギ網斑病

管内一部の圃場で発生が確認されている。防除適期は出穂期～穂揃期で、この時期の防除効果が最も高い。しかし、早い時期から発生株が散見され、病斑が上位葉に進展しているような場合は、直ちに防除を行うとともに、出穂期～穂揃期にも防除を実施する。

(チルト乳剤は1回しか使用できないので注意する)

網斑病の防除適期



注1) 出穂期とは全茎数の40～50%が出穂、穂揃期とは全茎数の80%が出穂した日。

注2) 矢印は防除適期を示し、薬剤については次表を参照とする。

注3) 出穂期より早い時期から発生株が散見され、病斑が上位葉に進展している場合は、この時期にも防除を実施する。

農薬名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量 (/10a)	使用時期	総使用回数	使用方法
チルト乳剤 25	網斑病	1000倍	60～150L	収穫21日前まで	1回	散布

○雑草対策

一部、1年生広葉雑草を中心に雑草(ヤエムグラ、キンポウゲ類、アメリカフウロ、ミチヤナギなど)の発生が目立つ圃場が見受けられる。

除草剤での防除を検討している場合は、麦の生育によってはすでに使用できない薬剤もあるので、早めの散布を行うとともに処理時期には十分注意する。

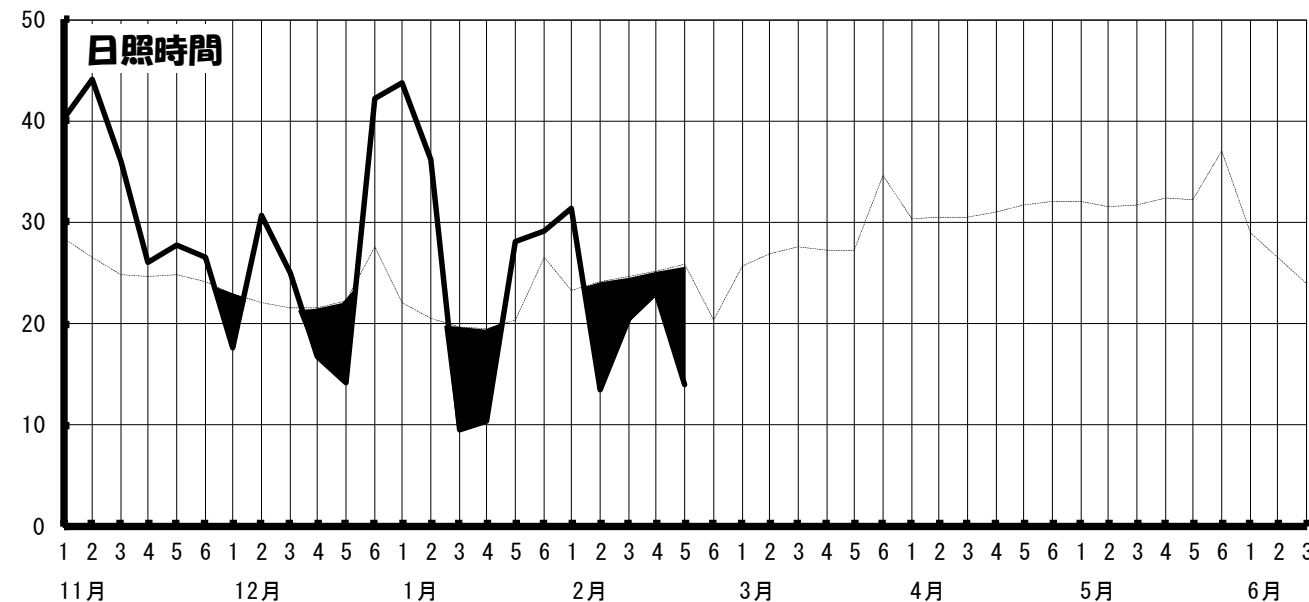
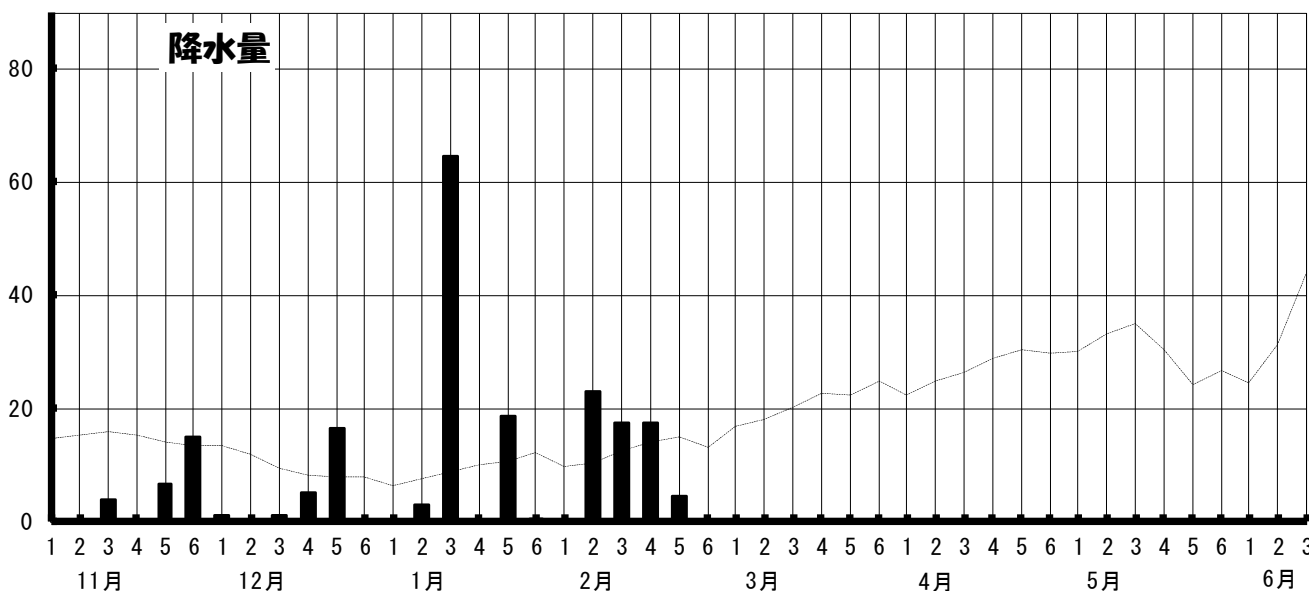
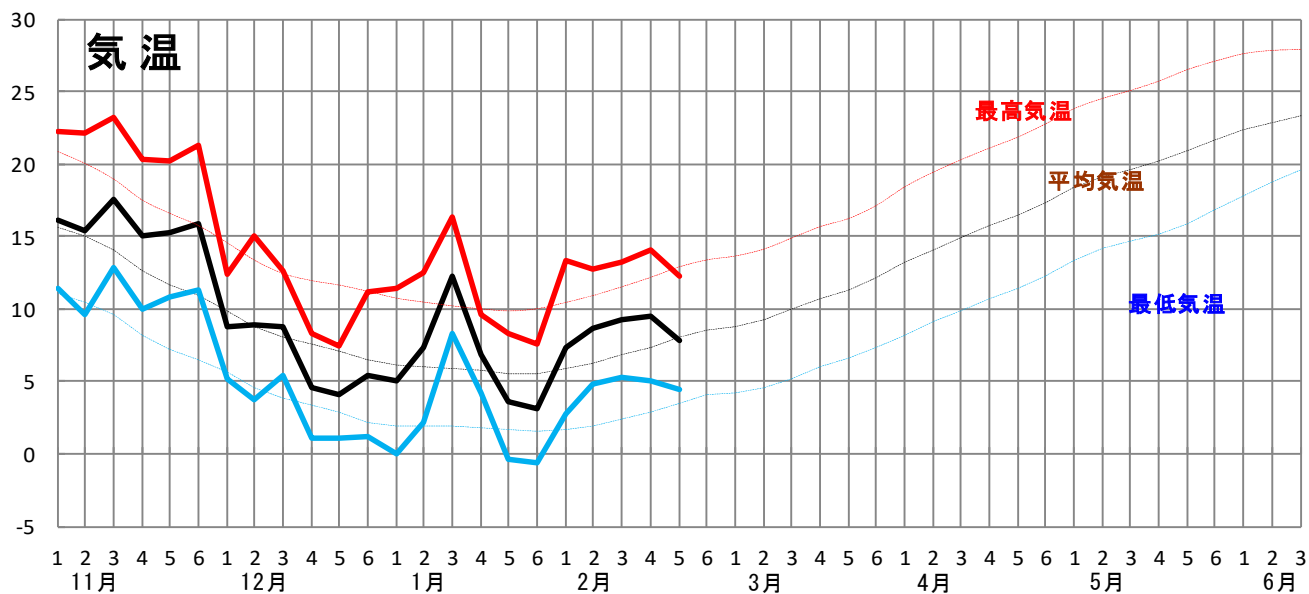
農薬名	効果のある雑草	使用量 (/10a)	希釈水量 (/10a)	使用時期	総使用回数	留意事項
ハーモニー 75DF 水和剤	1年生広葉雑草 スズメタネウリ カシノコ	5～10g	100L	は種後～節間伸長前 (スズメタネウリ5葉期まで) (カシノコ1～3葉期まで) ※小麦のみ は種後～穂ばらみ期まで 但し収穫45日前まで	1回以内	<ul style="list-style-type: none"> ・カシノコには10g/10aとし、土壌処理剤との体系処理で使用 ・周辺作物(特にタマネギ)への飛散には十分留意する ・ヤエムグラ、カシノコへの効果は劣る
バサグラン 液剤	1年生雑草 ※イネ科雑草には効果がない	100～200ml	70～100L	生育期(雑草3～6葉期) 小麦は収穫45日前、 大麦は収穫90日前まで	1回以内	<ul style="list-style-type: none"> ・ミチヤナギ、カシノコ、ミノムシ等への効果は劣る
エコパートフロアブル ※1	1年生広葉雑草 ※イネ科雑草には効果がない	50～100ml	100L	節間伸長開始期まで (広葉2～4葉期) (ヤエムグラ2～6節期) ただし収穫45日前まで	2回以内	<ul style="list-style-type: none"> ・薬害が出やすい ・ヤエムグラ優先圃場での使用がおすすめ

※1 エコパートフロアブルについて、適用時期を過ぎた使用は著しい薬害が発生する。使用時期については薬剤のラベルを確認し、散布する。散布は「節間伸長開始期まで」。

令和5年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

佐城農業振興センター



グラフ中の点線は平年値